

A④25,10 工業化の抑制が不可避の課題となる！ 50 年前の指摘（本の整理の余禄）

恩師・高木純一：生物と鉱物の本質的な違いから工業化の抑制が不可避の課題となる！と指摘した。
今や実質第 3 次世界大戦の様相を呈する世界情勢で益々、近代兵器（ドローン等）の発明で掲題が現実味を帯びて来た。将に氏が指摘した軍縮と同様に難しい問題！で今、世界は迷路に入っている。

本の整理で見つけた 1972 年・筑摩書房発行の高木純一著【システム科学】¥550 に 50 年前に記載されているのには驚愕！！何という先見の明。でも当時から今に至るまで注目されなかったのも不思議。本の表題の【システム科学】、副題が学問総合化の思想と方法。筑摩書房が筑摩総合大学、全 100 巻を目標にした 29 巻目。記事タイトルは“生物と鉱物”植物の生存条件は大地、空気、水、太陽で決まる。

一方で、A⑥25,1 年男の新年に当たり、～2006 年・柳田邦男著【石に言葉を教える！瀬戸際の日本人へ】～の投稿をしたが肝心の恩師の言葉を見逃していたのは失態でした。

柳田邦男/高木純一は 20 年/50 年前に現在の世界の状況を見通していた透徹さ。”

イズレニシテモ

IT 革命で人生の指針を失ったこの国（⇒今や、世界）の活路を示す書！壊れる日本人（⇒今や、人類）への処方箋、が謳い文句。壊れる脳、成長しない心・・・本来の人としての感性を取り戻しやり直すなら、今しかない！はズバリ喫緊の警告書になるのでは？～締めは

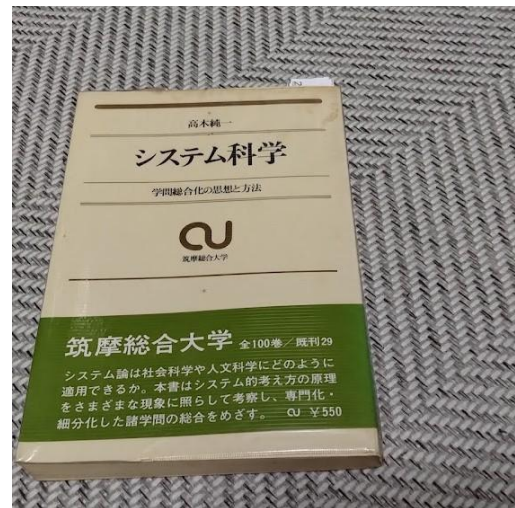
”子どもが頭を柱にぶついたら、子どもは痛い痛いと言葉をさす世の中にしたいもの？

要因は TV、スマホ（CHAT GPT も）によるのではないかとこの憂え、

⇒改めて直接面談・会話の重要性に注目したい。



2024 年放映 不思議な太刀割石 と会話する？
御法川 齊



1972 年発行 システム科学・本のカバー